

区分

A 中小都市、過疎地など
【人口10万人未満の自治体】

空間的交通空白の解消

他分野による交通事業の活用

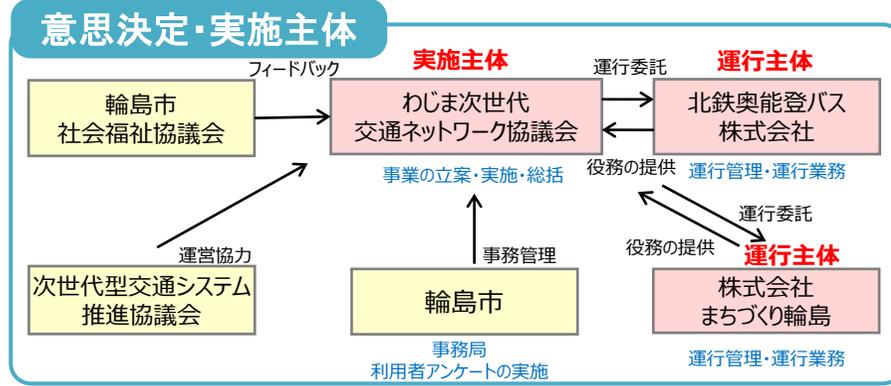
医療・介護・福祉
×交通

対象地域

- 地域：石川県輪島市
- 人口：24,608人
- 世帯数：10,208世帯
- 高齢化率：46.2%
- 面積：426.32km²

背景・お困りごと

- 能登半島地震前には市街地を循環するコミュニティバスが運行していたが、家屋倒壊や道路破損により定路線での走行が困難となり、さらにその後の豪雨災害、仮設住宅の建設などにより住民の居住エリアが大きく変化した
- 震災や豪雨などの災害の影響により自家用車等を失った住民も多く、交通機関や移動手段の確保が求められているが交通事業者も多くが被災しており、運転手や車両の確保が困難な状況である



実施内容

被災者の生活の足として仮設住宅や商業施設などに停留所を設定し、利用者の予約に応じて走る経路を変えるAIを活用した乗り合いAIデマンド交通を無償で運行



- #### 概要
- モード：AIオンデマンド交通 (道路運送法第21条許可)
 - 予約方法：電話、スマホアプリ
 - 料金：当面無料
※本格運行時に有料化予定

- #### 重要ポイント
- 道路の復旧状況に応じて停留所の追加・編集を数日に行い、日々変化する街の復興を移動の面から支援し、孤立しがちな仮設住宅の入居者にも外出を促す狙いもある
 - 高齢者の移動距離を50m程度にするため停留所の位置を調整し、輪島市内に90箇所以上の停留所を設置した
 - 相乗り率や乗車人数を最大限に引き上げるために、200以上のカスタマイズ可能なパラメーター (所要時間、ルート制約等) を調整するなどサービスの改善を繰り返し図っている

運行実績・成果

運行実績

- 運行期間：2024/8/1～2025/1/31
- 利用者数：4,133名
- 平均乗合人数：17.3人/1運行

収入	0円 (無償運行)	
支出	初期費用	4,251,400円 (予約・配車システム構築費、住民説明会費用)
	ランニングコスト	12,921,710円 (運行費用)
損益	▲17,173,110円※ (共創・MaaS実証プロジェクトを活用)	

- #### 成果
- 登録者数は595名、相乗り率は「41.9%」と約半分が相乗りでの利用であり、またリピーター率については「70.1%」と多くのユーザが繰り返し利用した結果となった
 - 被災後の多くの市民の移動手段確保、外出機会拡大や従前の交通モードの補完と輸送資源の有効活用に十分寄与したものと評価される

今後の事業展開

<今後の事業展開時の運行における根拠法令 (予定)：道路運送法第78条>

- 実証事業の実施により得られた効果・課題等を定量的・定性的に把握するとともに、利用者の理解を深めるために継続的な説明会や操作説明会を開催しながら地域住民との対話を通じて、サービスの改善点や新たなニーズを把握し、新たな取組についての検討・整理を行う予定